



# 鉢山中だより

渋谷区立鉢山中学校発行  
令和3年 3月 1日  
第12号  
〒150-0032  
渋谷区鶯谷町9-1

## 鉢山中学校教育目標

- よく考え、すすんで学ぶ生徒の育成
- 創造性豊かな生徒の育成
- 健康で明るい生徒の育成

## 有終の美を飾る

3月になりました。令和2年度の終わりの月です。あと1か月で1年生は2年生に、2年生は3年生に進級し、3年生は卒業してそれぞれの進路をスタートさせることとなります。この1か月で「終わり方」について考えてみてください。

学年の終わり、中学生としての終わり「卒業」、やがて会社などに入れば職業の終わり「退職」、そして人生の終わり。

「終わり方」は、その人の「生き方」が関わっています。中には、「後は野となれ山となれ」という人もいるかもしれませんが。意味は「目先のことさえなんとか済めば、後はどうなっても構わない」ということです。いい加減な気持ちで終わりを迎えるのは美しくないと思います。

皆さんには是非、「有終の美を飾る」という気持ちでいてもらいたいと思います。「有終の美を飾る」とは、「最後まできちんと行い、悔いを残さない」という意味です。

「有終の美を飾る」ために、次のことを各自で実行してください。

まず、「学習面について最後まできちんと行いましょう」。3年生にとっては、義務教育9年間の最後の学習ということになります。最後の授業までしっかりした態度で受けて、立派に卒業してください。また、1、2年生も進級に向けて、1年間の学習を振り返り、立派な上級生になれるよう頑張ってください。

次に「自分自身を見つめましょう」。3年生は卒業後の進路先で、どのように過ごしていくのか、という見通しを立ててください。そして、1、2年生も自分の将来について、この1年間を振り返り、次年度にどんな点を改善していけばいいのかを考える機会にしてください。そして、より良い自分になれるようがんばりましょう。

最後に「自分のいた場をきれいにしましょう」。この1年間生活した教室や校舎、自分の机やイスなどきれいな状態にして後輩に引き継いでください。自分が受け継いだ時以上にピカピカにして引き継げば、後輩もしっかりした気持ちで新年度をスタートできます。皆さん、一人一人がこの1か月で「有終の美を飾れる」ことを期待しています。

## アメリカ大使館との交流

2月12日（金）には、Teams を使用してのアメリカ大使館との交流が行われました。初めに大使館での仕事などについての紹介を聞き、こちらから大使館への質問に答えてもらいました。オリパラ教育の一環として企画されました。



## 土曜授業

2月13日(土)には、土曜授業を実施しました。通常の授業と並行して、第3回のプログラミング教室も実施されました。今回も数学とのコラボで、図形作成のプログラミングなどを行いました。また、この日は新生保護者への資料配布や学校運営協議会・PTA 理事会も実施されました。土曜授業は今回が最後です。



## I 組お台場方面校外学習

2月19日(金)には、I組は貸し切りバスでお台場方面に校外学習に行きました。本年度は新型コロナの関係で様々な行事が中止になったりしましたが、穏やかな天候の中、思い出に残る行事になったと思います。日本科学未来館ではアシモの実演を見学しました。お台場の自由の女神の前で記念写真を撮り学校に戻りました。



## 後期期末考査

2月24日(水)～26日(金)には、後期期末考査が実施されました。本年度最後のテストに真剣に取り組んでいました。3年生にとっては、義務教育9年間の最後のテストになります。あす3月2日は、都立高校の一般入試の合格発表です。



## 3月の主な予定

- |          |              |
|----------|--------------|
| 3月 5日(金) | 1年TGG校外学習    |
| 3月 9日(火) | 球技大会・不審者対応訓練 |
| 3月13日(土) | さみどり祭        |
| 3月16日(火) | 1年鎌倉方面校外学習   |
| 3月19日(金) | 第72回卒業式      |
| 3月23日(火) | 2年都内校外学習     |
| 3月25日(木) | 修了式          |



令和2年度も残すところあとわずかとなりました。私にとっては、鉢山中学校での校長としての1年間は、新型コロナ感染防止の対応などで戸惑うことも多くありましたが、皆様のご協力により、何とか進めていくことができました。私も「有終の美を飾れる」ように、最後までしっかり校務を行っていきたいと思います。次年度の鉢山中学校がさらに良い学校になれるように努めます。1年間ありがとうございました。  
(文責 校長 畠山直也)